

兵庫県下の経済動向

平成25年4月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、下げ止まりの兆しが窺われる。生産は下げ止まりつつあるほか、個人消費は一部に持ち直しの動きがみられる。住宅投資は持ち直しているほか、公共投資は増加している。一方、輸出は足もと減少したほか、設備投資は弱めとなっている。この間、雇用・所得環境は改善の動きが一服している。

こうした中、3月短観における管内企業の業況感は、足もと悪化したものの、先行きは改善を見込んでいる。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が2か月ぶりに前年を上回った。乗用車販売は、軽自動車が増加したものの、普通乗用車および小型乗用車が減少し、全体では7か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォン等が引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、製造業および非製造業ともに減少を見込んでおり、25年度も減少計画となっている。

住宅投資は、持家、分譲・給与住宅が増加し、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事は、神戸市、独立行政法人が増加したものの、国、兵庫県等で減少したことから、2か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出は米国およびEU向けが増加したが、中国を含むアジア向けが減少し、2か月ぶりに前年を下回った。また、輸入については2か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月ぶりに前年を上回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月から横ばい、新規求人数は前年を上回った。

また、一人当たり名目賃金は、前年を上回ったものの、所定外労働時間および常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年並みの水準で推移している。

企業倒産は、件数、金額とも前月および前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

1月の兵庫DIは、先行指数57.1%、一致指数55.6%、遅行指数0.0%となった。

1月の兵庫CIは、先行指数83.7、一致指数91.1、遅行指数97.7となった。

兵庫DIは、先行指数が3か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を上回り、一致指数が11か月ぶりに50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数は前月差減、一致指数は2か月連続で前月差増、遅行指数は4か月連続で前月差減となった。

県統計課は基調判断を「一致指数は悪化を示している。ただし、CI一致指数の3か月後方移動平均の前月差は10か月ぶりにプラスに転じた。」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

2月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は87.3、前月比0.8%増加。出荷指数は86.5、同3.2%増加。在庫指数は123.0、同0.9%低下。在庫率は133.3、同1.3%低下。生産指数はおよび出荷指数は2か月ぶりに上昇、在庫指数は5か月連続で低下した。

前年同月比(原指数)では、生産が16.2%減で12か月連続、出荷は15.8%減で13か月連続で低下した。また在庫は4.1%減で2か月連続で低下した。

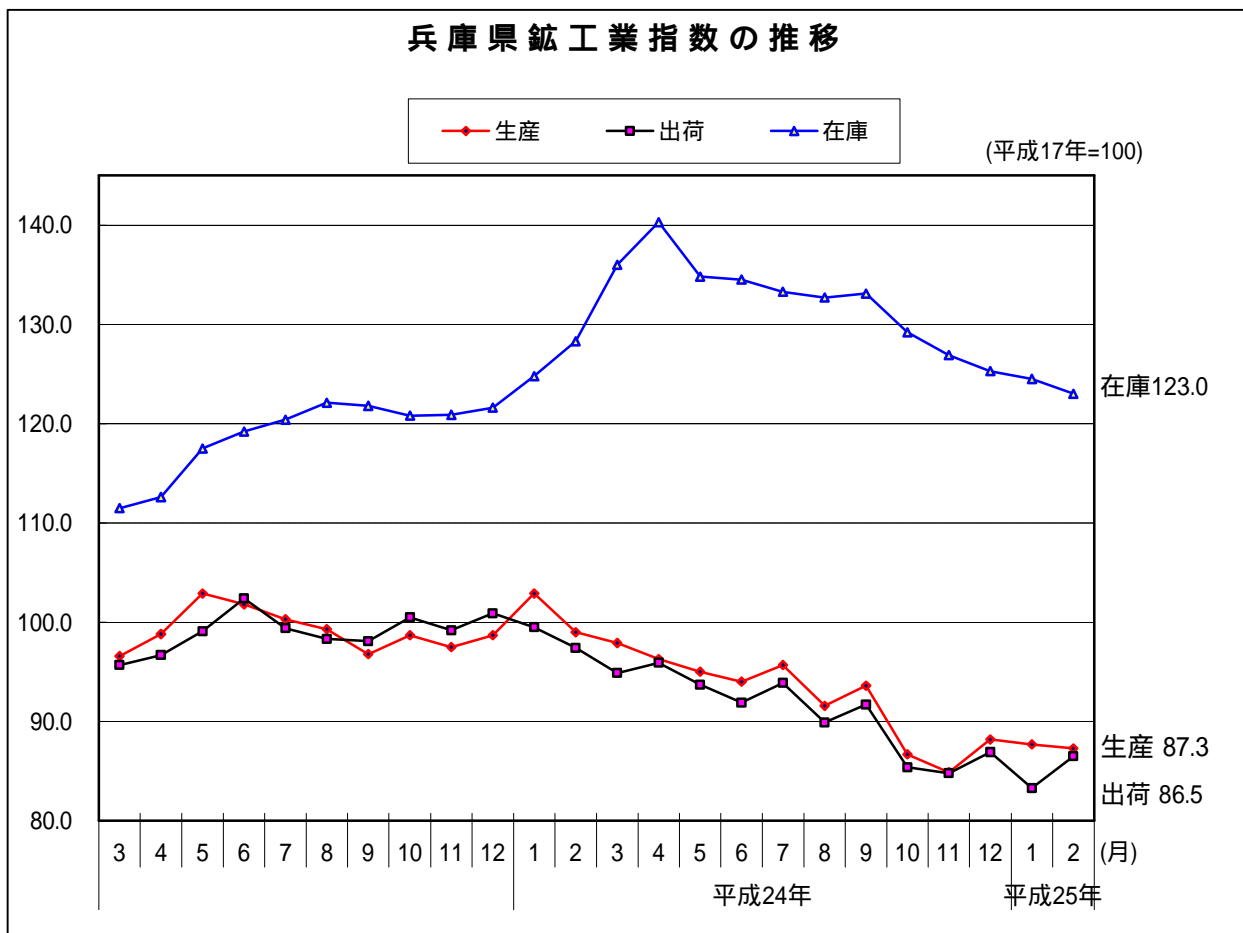
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、ビール類等の「食料品」が8.0%、スイッチング電源等の「電子部品・デバイス」が6.4%、開閉制御装置等の「電気機械」が5.8%、普通鋼鋼管、特殊鋼熱間延鋼材等の「鉄鋼」が5.1%、ガス温風暖房機、ガス湯沸器等の「金属製品」が3.4%、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が2.4%、化粧品等の「化学」が1.3%、各々上昇し、貯蔵槽、一般用蒸気タービン等の「一般機械」が8.9%、携帯電話等の「情報通信機械」が4.1%、各々低下した。

県統計課は、基調判断を「下げ止まりの兆しが見られる」とした。

2月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数	対前月比増減(%)	原 指 数	
			原指数	対前年同月比増減(%)
生 産	87.3	0.8	83.2	16.2
出 荷	86.5	3.2	81.3	15.8
在 庫	123.0	0.9	126.0	4.1
在 庫 率	133.3	1.3	139.2	0.1

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



2月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	94.1	5.1	上昇	普通鋼鋼管、特殊鋼熱間圧延鋼材、粗鋼、鋼半製品
			低下	大中小形鋼、普通鋼冷延広幅帯鋼、ブリキ、鋳鋼品
金属製品	84.6	3.4	上昇	ガス温暖房機、ガス湯沸器、鋼管製管継手、石油温水給湯暖房機
			低下	橋りょう、ばね座金、ガス風呂がま、鉄くぎ
一般機械	72.7	8.9	上昇	蒸気タービン部品、混合機・かくはん機・粉碎機、建設用クレーン、圧縮機
			低下	貯蔵槽、一般用蒸気タービン、コンベヤ、反应用機器
電気機械	127.0	5.8	上昇	開閉制御装置、リチウムイオン蓄電池、太陽電池モジュール、電力変換装置
			低下	一般用タービン発電機、クッキングヒーター、保護継電器、コンデンサ(電子機器用のものを除く)
情報通信機械	89.2	4.1	上昇	固定通信装置、パーソナルコンピュータ、レーダ装置、プリンタ
			低下	携帯電話、カーナビゲーション、搬送装置、陸上移動通信装置(携帯電話以外)
電子部品デバイス	84.2	6.4	上昇	スイッチング電源、電界効果型トランジスタ、シリコンダイオード、PDPモジュール
			低下	アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、線形半導体集積回路、IGBT、シリコンウエハ
輸送機械	77.2	2.4	上昇	船用ディーゼル機関、駆動伝導・操縦装置部品、特装ボデー、二輪自動車部品
			低下	旅客車、シャシー・車体部品、二輪自動車(125ml以下)
化 学	78.5	1.3	上昇	化粧品、医薬品、塩化ビニル(モノマー)、印刷インキ
			低下	無水酢酸、石油化学品製造用触媒、脂肪酸、酢酸(99%換算)
食 料 品	97.0	8.0	上昇	ビール類、砂糖、めん類、パン類
			低下	しょうゆ、肉製品、米菓、牛乳

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた3月の県内百貨店売上高は、前年同月比3.5%増の176億7百万円で、2か月ぶりに増加した。株価上昇などで消費意欲が刺激される「資産効果」で、衣料品や高級腕時計などが好調だった。

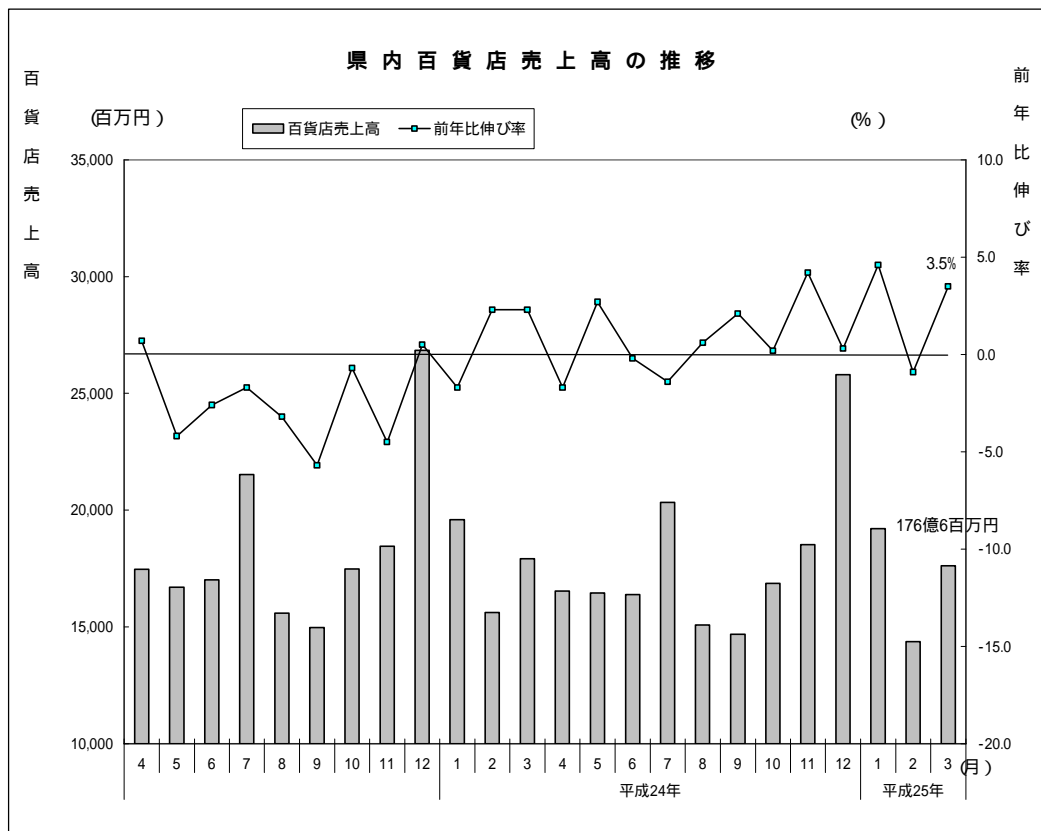
神戸地区は3.6%増。売り上げの大きな婦人服が伸び、全体を引き上げた。

姫路・加古川地区は3.0%増。JR姫路駅からの地下通路が開通し、食品が6.1%増となった。

3月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	752(10.5)	180(4.1)	932(9.2)
婦人服・洋品	4,506(5.2)	729(2.6)	5,236(4.0)
子供服・洋品	489(1.4)	134(2.3)	624(1.6)
身の回り品	1,532(5.5)	297(3.8)	1,830(5.2)
家庭用品	601(8.0)	153(4.3)	755(5.3)
食料品	3,981(0.9)	822(6.1)	4,804(1.8)
雑貨	1,982(2.0)	410(0.3)	2,393(1.7)
その他	704(0.9)	326(16.2)	1,030(5.3)
計	14,552(3.6)	3,055(3.0)	17,607(3.5)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会
神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内3月の乗用車新車登録台数は24,459台、前年同月比14.2%減と7か月連続で前年同月の実績を下回った。

3月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は7,625台(前年同月比17.6%減)、小型乗用車は6,773台(同25.2%減)、軽乗用車は7,070台(同6.4%増)、乗用車合計で21,468台(同13.9%減)となった。

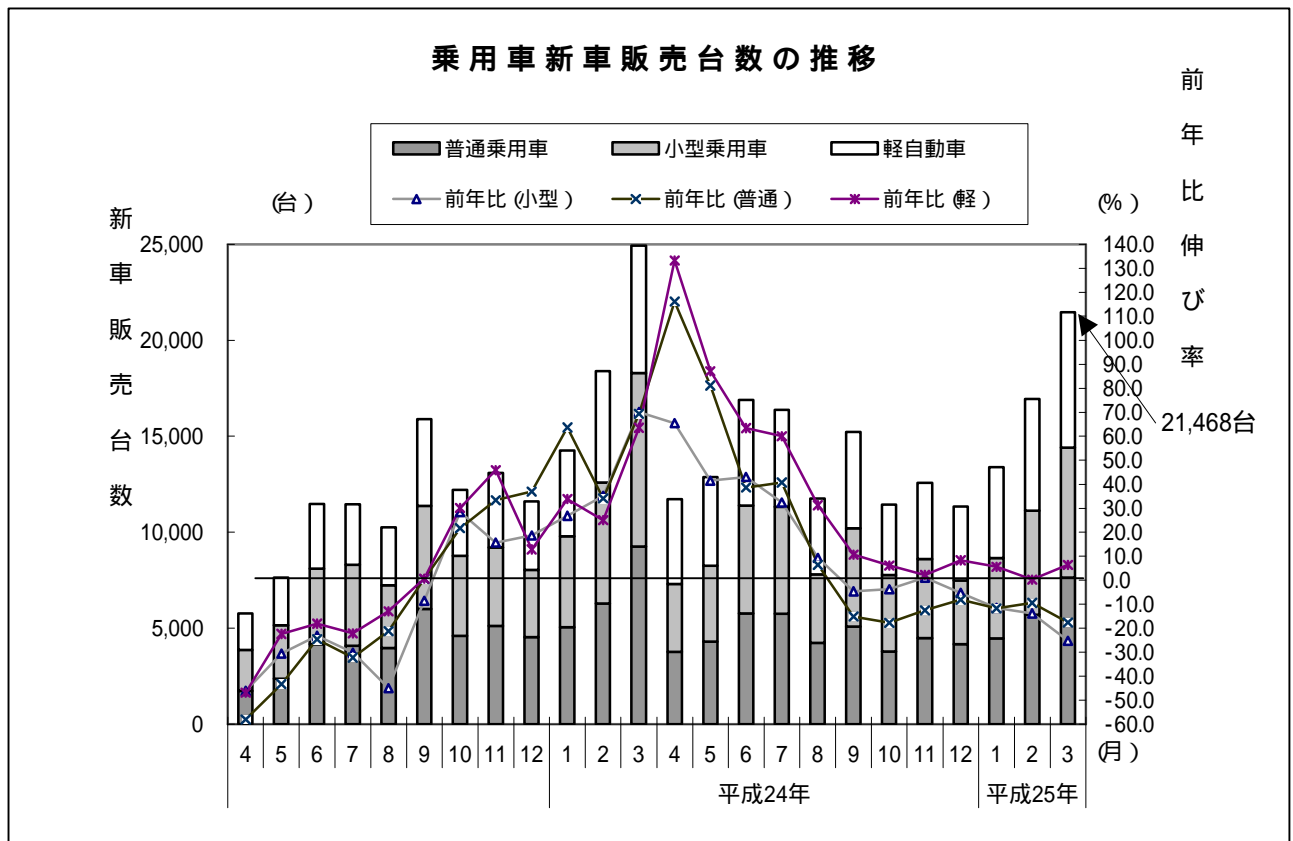
また貨物車等では、普通貨物車は537台(同7.7%減)、小型貨物車は795台(同13.9%減)、軽貨物車は1,597台(同19.8%減)、バスは62台(同14.8%減)となった。

3月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	7,625	17.6	175,718	15.8
小型乗用車	6,773	25.2	193,985	17.4
軽乗用車	7,070	6.4	200,987	1.9
乗用車合計	21,468	13.9	570,690	11.0
普通貨物車	537	7.7	20,503	4.7
小型貨物車	795	13.9	27,779	8.1
軽貨物車	1,597	19.8	46,068	18.8
貨物車合計	2,929	16.2	94,350	13.0
バス	62	14.8	2,084	15.8
登録車総計	24,459	14.2	667,124	11.3

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が4月11日に発表した機械受注統計によると、平成25年2月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、25年1月前月比3.0%減の後、25年2月は同4.6%増の1兆8,807億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、1月前月比13.1%減の後、2月は同7.5%増の7,038億円となった。

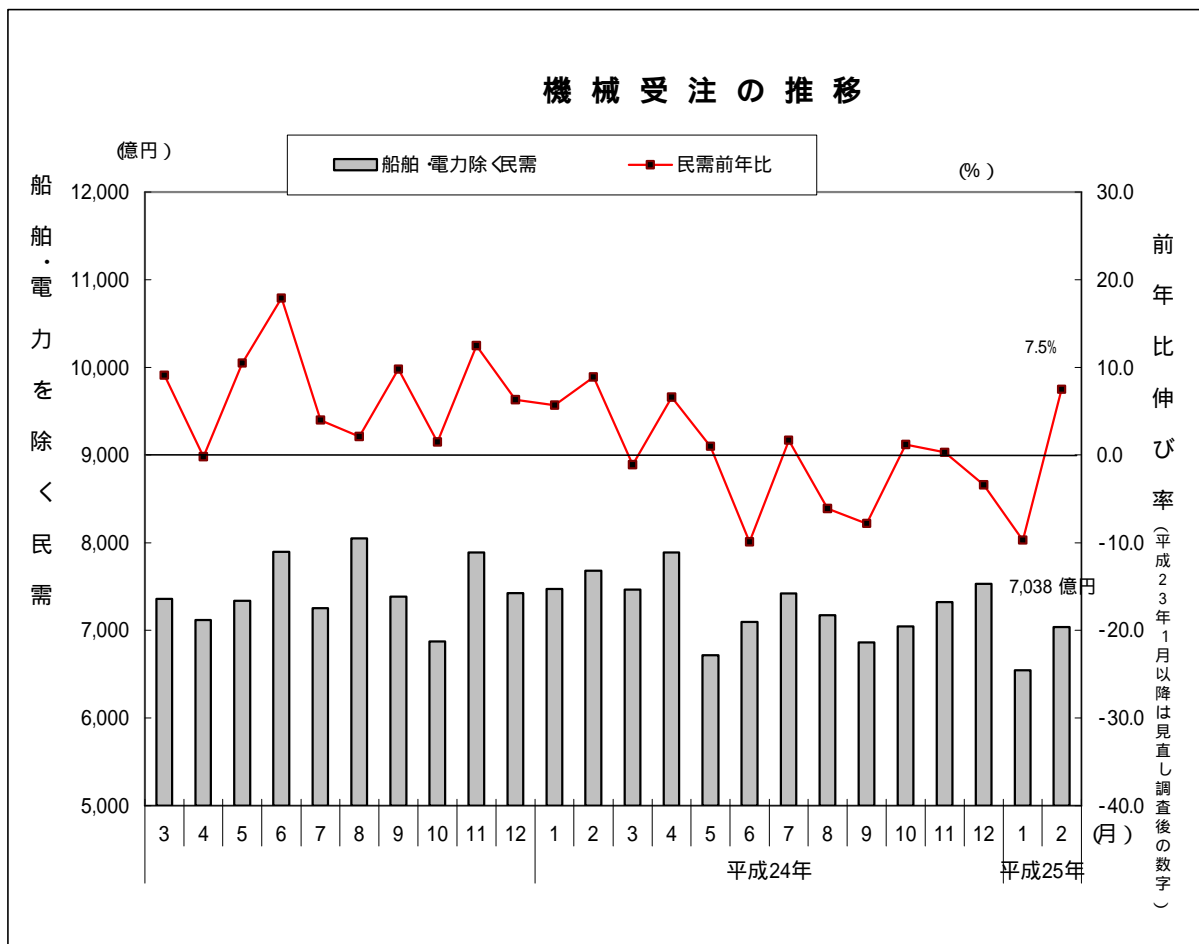
内訳をみると、製造業が同8.6%増の2,788億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同0.6%増の4,125億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、非鉄金属(170.4%増)鉄鋼業(50.9%増)電気機械(34.7%増)金属製品(34.6%増)その他輸送用機械(23.9%増)等の9業種で、石油製品・石炭製品(57.5%減)パルプ・紙・紙加工品(55.3%減)造船業(28.3%減)情報通信機械(22.0%減)等の6業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、不動産業(13.4%減)卸売業・小売業(5.9%増)等の3業種で、金融業・保険業(24.0%減)鉱業・採石業・砂利採取業(15.0%減)運輸業・郵便業(12.8%減)情報サービス(4.1%減)リース業(2.4%減)等の9業種は減少となった。

兵庫県下においては、2012年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2013年3月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+12.5%(製造業+22.8%、非製造業 17.8%)



機械受注統計（平成25年2月分）

	24年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 実績	25年 1~3月 見通し	24年 11月 実績	12月 実績	25年 1月 実績	2月 実績
受注総額	67,292 (7.1) [3.2]	58,815 (-12.6) [-4.0]	53,704 (-8.7) [-8.3]	55,231 (2.8) [-9.7]	61,026 (10.5) [-6.5]	18,827 (5.3) [-8.6]	18,530 (-1.6) [-12.5]	17,976 (-3.0) [-24.8]	18,807 (4.6) [-14.8]
民需	26,253 (-4.2) [-1.8]	26,542 (1.1) [-5.8]	25,763 (-2.9) [-7.1]	25,581 (-0.7) [-5.6]	29,312 (14.6) [12.0]	9,235 (15.2) [-11.6]	8,331 (-9.8) [-1.2]	7,729 (-7.2) [-9.1]	7,740 (0.1) [-14.0]
” (Ex 船・電)	22,620 (0.9) [3.3]	21,702 (-4.1) [-1.7]	21,456 (-1.1) [-4.6]	21,894 (2.0) [-0.8]	22,077 (0.8) [-1.5]	7,321 (3.9) [0.3]	7,529 (2.8) [-3.4]	6,544 (-13.1) [-9.7]	7,038 (7.5) [-11.3]
製造業	9,804 (0.1) [-0.5]	9,234 (-5.8) [-7.6]	8,942 (-3.2) [-9.5]	8,590 (-3.9) [-11.1]	8,584 (-0.1) [-12.0]	2,870 (3.9) [-10.5]	2,957 (3.0) [-9.8]	2,568 (-13.2) [-19.0]	2,788 (8.6) [-18.2]
非製造業 (Ex 船・電)	12,791 (0.5) [6.4]	12,794 (0.0) [3.1]	12,808 (0.1) [-1.3]	13,612 (6.3) [7.4]	13,662 (0.4) [8.2]	4,757 (6.2) [9.1]	4,376 (-8.0) [1.6]	4,099 (-6.3) [-1.5]	4,125 (0.6) [-5.5]
官公需	7,496 (10.9) [30.6]	7,811 (4.2) [26.7]	7,115 (-8.9) [18.1]	6,669 (-6.3) [-1.5]	7,757 (16.3) [-12.7]	2,091 (-2.6) [7.3]	2,433 (16.4) [-10.9]	1,798 (-26.1) [-21.8]	2,185 (21.5) [1.5]
外需	27,613 (6.6) [-1.3]	22,904 (-17.1) [-9.4]	19,867 (-13.3) [-18.0]	21,886 (10.2) [-16.5]	22,967 (4.9) [-16.0]	8,020 (17.0) [-9.6]	7,012 (-12.6) [-24.1]	6,675 (-4.8) [-36.7]	7,211 (8.0) [-21.0]
代理店	2,946 (10.2) [20.4]	2,768 (-6.1) [7.8]	2,705 (-2.3) [11.7]	2,614 (-3.3) [-1.8]	3,364 (28.7) [13.3]	879 (6.4) [-0.7]	909 (3.4) [-1.2]	902 (-0.7) [2.2]	888 (-1.6) [-4.1]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内2月の新設住宅着工戸数は、総数で2,607戸(前年同月比12.7%増)となり、貸家を除く持家、分譲住宅、給与住宅が増加し、全体では2か月ぶりに前年を上回った。また、前月比では452戸の増加となった。

2月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	843	10.1	22,987	2.3
・分譲住宅	1,065	40.3	23,238	9.1
貸家系・貸家	696	11.7	22,257	2.4
・給与住宅	3	200.0	487	35.3
総数	2,607	12.7	68,969	3.0

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

2月の地域別着工戸数

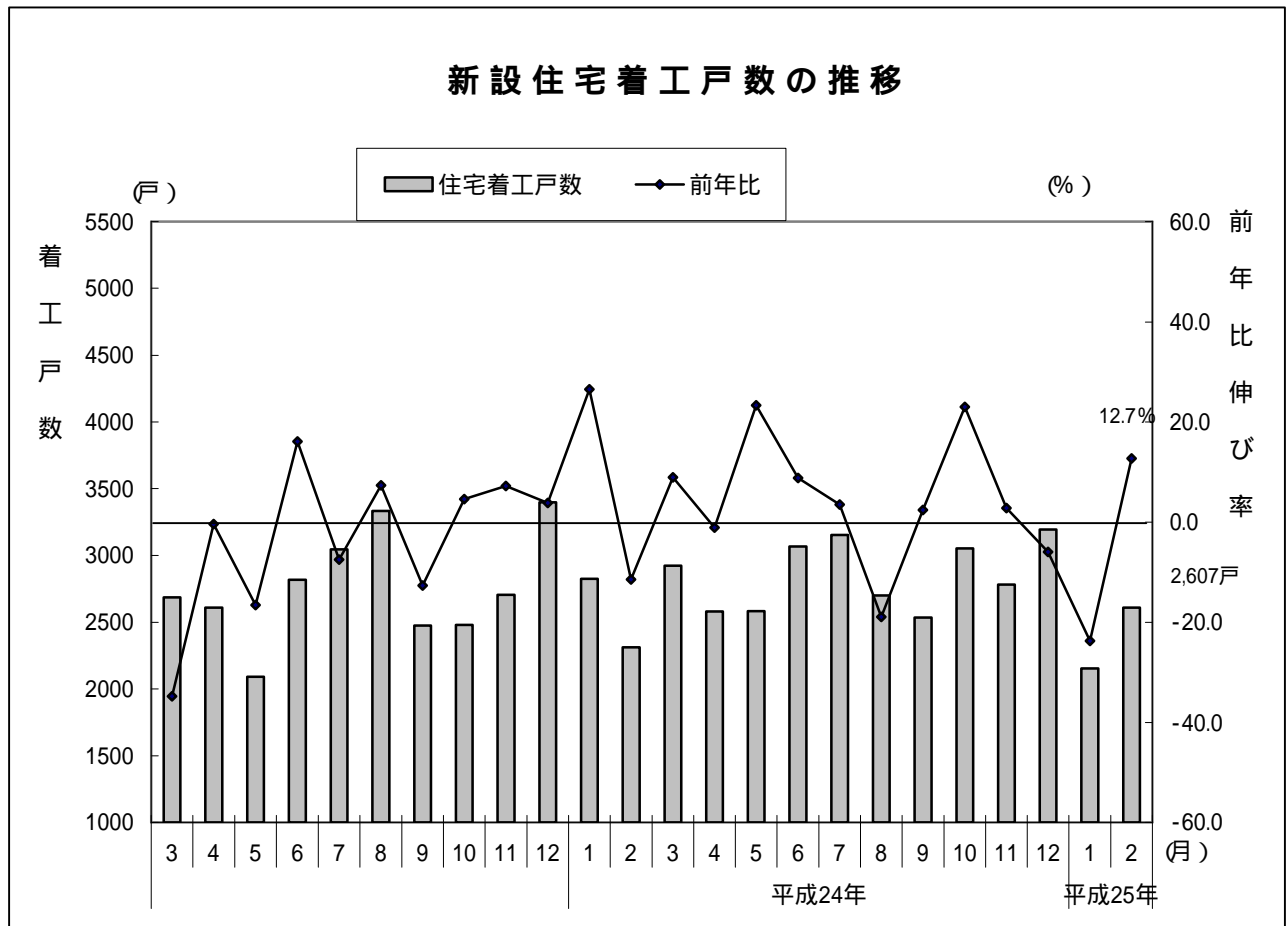
(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	695	497	477	252	133	371	94	22	20	46	2,607
前月比	182	-53	138	-25	51	122	41	-5	-1	2	452

資料：兵庫県住宅計画課

平成25年2月の新設住宅着工累計は、総数で30,397戸、前年同期比307戸の増加となった。利用関係別では「持家」が10,039戸(前年同期比0.7%増)、「分譲住宅」が11,169戸(同0.9%増)、「貸家」が8,821戸(同0.6%減)、「給与住宅」が368戸(同109.1%増)となった。

新設住宅着工戸数の推移



【公共工事】

3月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は316件で前年同月比30.1%の減少、請負金額は219億55百万円で同12.4%の減少となり、金額ベースでは2か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市」が前年同月比46.1%、「独立行政法人等」同44.0%が増加となったものの、「兵庫県」同34.5%、「国」同21.3%、「神戸市を除く市町」同14.7%、「その他の団体」同0.8%、の減少となり、前年同月を下回った。

地域別(金額ベース)では、阪神南(同152.3%増)、神戸市(同62.7%増)、東播磨(同49.2%増)で増加、北播磨(同75.6%減)、中播磨(同72.6%減)、阪神北(同67.7%減)、西播磨(同50.7%減)、但馬(同50.7%減)、丹波(同36.8%減)、淡路(同19.3%減)で減少となった。

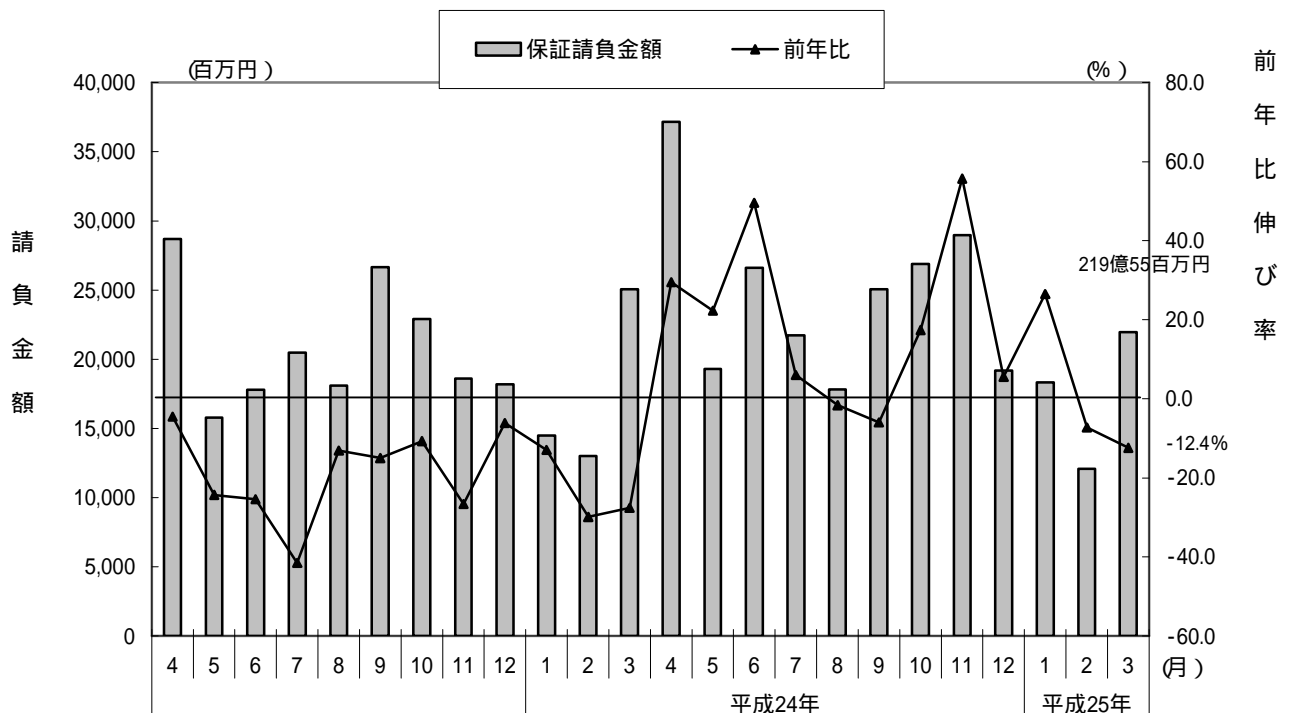
3月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	28(20.0)	3,843(21.3)	芦川谷山腹工事、神戸港ポートアイランド(第2期)地区荷さばき地改良工事
独立行政法人等	15(34.8)	3,696(44.0)	本四高速道路(株)平成24年度伝送交換設備更新新工事
兵庫県	164(41.4)	7,127(34.5)	尼崎西宮芦屋港尼崎港区東浜第1排水機場改築工事(機械工)
神戸市	49(122.7)	3,268(46.1)	中突堤西遮幹線築造工事 上筒井小学校・筒井台中学校校舎改築工事
神戸市を除く市町	47(41.2)	2,652(14.7)	西宮市甲子園浜浄化センター建設工事
その他の団体	13(8.3)	1,366(0.8)	
合計	316(30.1)	21,955(12.4)	

資料：西日本建設業保証(株)

月別保証請負金額の推移



【貿易】

平成25年2月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は5,918億円、前年同月比4.1%の減少で、総額ベースで2か月ぶりに減少となった。輸出は、通信機などが増加したものの、船舶、鉄道用車両などが減少した。一方、輸入は、肉類および同調製品などが減少したものの、半導体等電子部品、有機化合物などが増加した。

輸出は3,860億円(前年同月比11.8%増)と2か月ぶりに減少した。

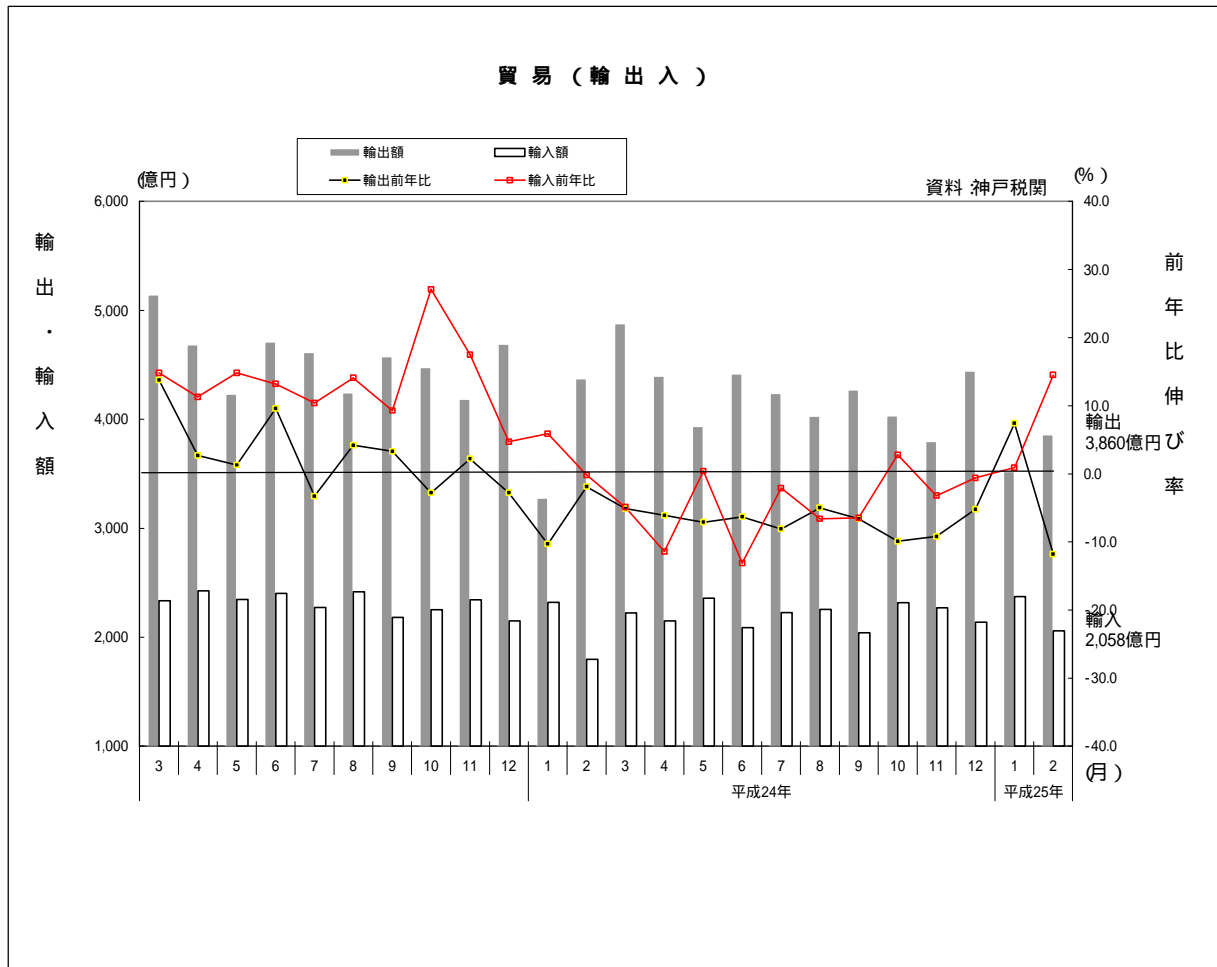
主要品目では、プラスチック(前年同月比4.8%増、2か月連続プラス)が増加したものの、織物用糸および繊維製品(同6.6%減、2か月ぶりにマイナス)、原動機(同2.0%減、4か月連続マイナス)、建設用・鉱山用機械(同0.6%減、2か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比5.6%増、10か月ぶりにプラス)、米国(同0.1%増、8か月連続プラス)が増加し、アジア(中国含む)(同16.4%減、2か月ぶりにマイナス)、中国(同30.8%減、17か月連続マイナス)が減少した。

輸入は2,058億円(前年同月比14.5%増)と2か月連続で増加した。

主要品目では、有機化合物(前年同月比38.7%増、5か月連続プラス)、衣類および同付属品(同20.9%増、4か月ぶりにプラス)が増加し、非鉄金属(同11.6%減、3か月連続マイナス)たばこ(同1.8%減、2か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比30.9%増、9か月ぶりにプラス)、アジア(中国含む)(同21.2%増、4か月ぶりにプラス)、米国(同18.9%増、3か月連続プラス)、EU(同15.4%増、3か月連続プラス)が増加した。



【物 価】『消費者物価』

3月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.0(平成22年=100)となり、前月比は0.3%上昇、前年同月比は1.4%下落となった。生鮮食品を除く総合指数は99.3となり、前月比は0.4%上昇、前年同月比は0.7%下落となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.9となり、前月比は0.6%上昇、前年同月比は0.6%下落となった。

前月からの動きを見ると、野菜・海藻などの値下がりにより「食料」が0.2%、家庭用耐久財などの値下がりにより「家具・家事用品」が0.9%、それぞれ下落した。しかしながら、教養娯楽用耐久財などの値上がりにより「教養娯楽」が1.2%、衣料などの値上がりにより「被服及び履物」が2.5%、交通などの値上がりにより「交通・通信」が0.6%、身の回り用品などの値上がりにより「諸雑費」が1.0%、補修教育の値上がりにより「教育」が0.3%、保健医療用品・器具などの値上がりにより「保健医療」が0.3%、それぞれ上昇した結果、総合では0.3%の上昇となった。

3月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	99.0	96.8	101.9	104.9	95.3	99.0	97.4	99.4	100.5	93.5	103.5	99.3	98.9
前月比	0.3	-0.2	0.0	0.0	-0.9	2.5	0.3	0.6	0.3	1.2	1.0	0.4	0.6
前年同月比	-1.4	-4.2	0.4	0.1	-3.0	-0.5	-1.1	0.4	0.4	-3.3	0.6	-0.7	-0.6

(注)平成22年=100

資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目

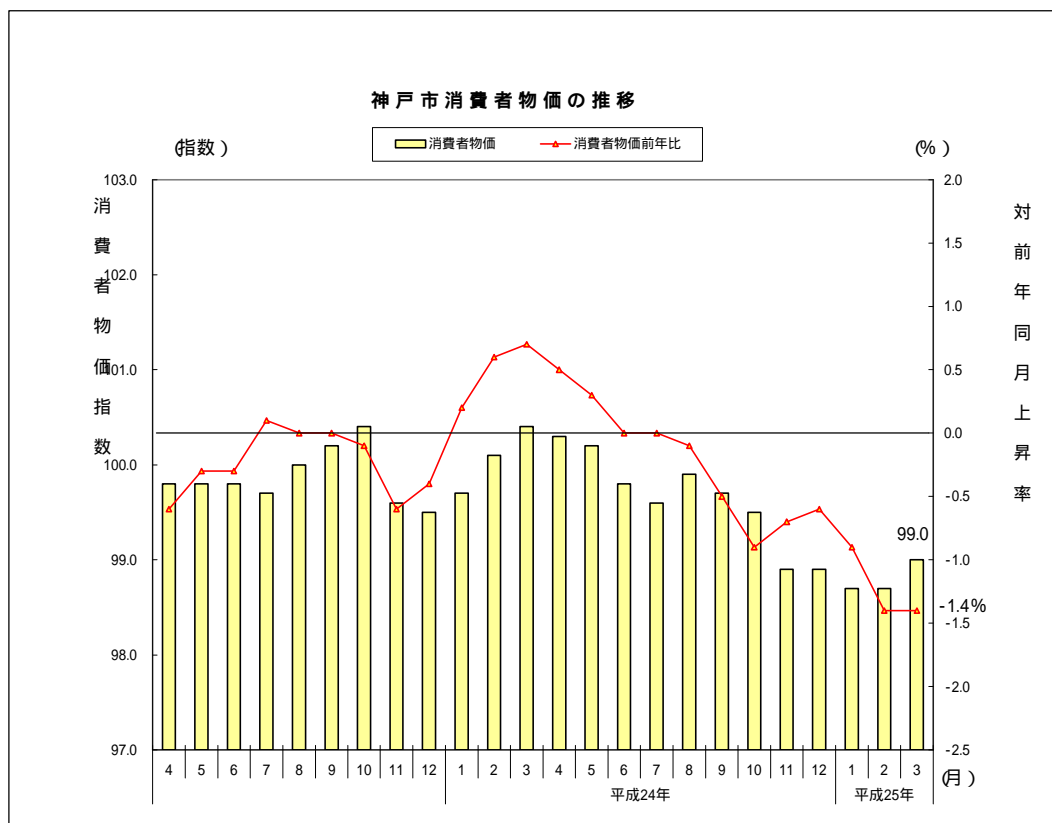
教養娯楽用耐久財 (+ 7.9%)・・・テレビ、パソコン(ノート型)、ビデオレコーダー

衣料 (+ 4.9%)・・・婦人上着、乳児服

対前月比値下がりした主な品目

野菜・海藻 (3.6%)・・・レタス、ブロッコリー、ほうれんそう

家庭用耐久財 (3.2%)・・・電子レンジ、電気冷蔵庫、電気炊飯器



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が4月11日に発表した、企業物価指数(速報)による2013年3月の企業物価指数は次のとおり。

3月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	101.1	0.1	0.5
輸 出 物 価	106.6	0.7	7.5
輸 入 物 価	122.2	1.5	8.2

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、非鉄金属(同-0.7% <銅地金など>)等が下落したが、スクラップ類(前月比+4.7% <鉄くずなど>)石油・石炭製品(同+0.6% <ガソリンなど>)、電力・都市ガス・水道(同+0.4% <産業用特別高圧電力など>)、化学製品(同+0.3% <プロピレンなど>)、鉄鋼(同+0.3% <小形棒鋼など>)等が上昇し、全体では前月比0.1%の上昇となった。

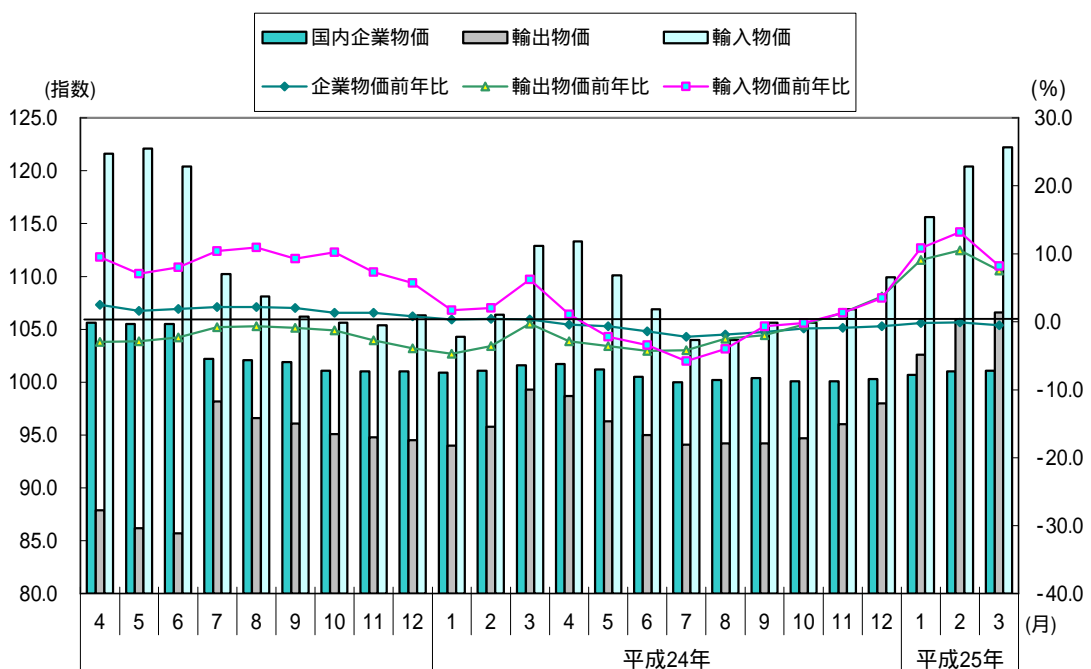
前年同月比では0.5%下落し、12か月連続でマイナスとなった。

景気減速の懸念から鉄鋼の値段が下がったほか、価格競争で情報通信機器も全体を押下げた。

輸出物価は、繊維品(同-3.8% <合繊長繊維など>)等が下落したものの、化学製品(同+1.9% <塩化ビニルモノマーなど>)、金属・同製品(前月比+0.9% <金地金、鉄くずなど>)等が上昇し、円ベースでは前月比0.7%の上昇(前年同月比+7.5%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(同+2.7% <原油など>)、金属・同製品(前月比+0.5% <銅鉱、銅・同金属など>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.5%の上昇(前年同月比+8.2%)となった。

全国企業物価指数の推移



【雇 用】

(1) 求人状況

県内2月の新規求人数(全数)は、27,747人(前年同月比4.7%増、前月比4.5%減)で、19か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は72,308人(前年同月比6.0%増、前月比5.0%増)で34か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比0.4%増で36か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同9.0%増で15か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同23.4%増で4か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比4.1%増)、宿泊業、飲食サービス業(同18.3%増)、医療・、福祉(同8.2%増)、サービス業(同7.8%増)は前年を上回ったが、製造業(同4.2%減)、情報通信業(同9.5%減)、運輸業、郵便業(同14.0%減)、卸売業、小売業(同2.3%減)、学术研究、専門・技術サービス業(同0.7%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同5.6%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

2月の新規求職申込件数(全数)は、22,926件(前年同月比4.1%減、前月比7.2%減)で、2か月ぶりに前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は93,563人(前年同月比1.9%減、前月比3.9%増)で33か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比4.0%減で2か月ぶりに前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同4.2%減で2か月ぶりに前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比16.7%減で6か月連続して前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比9.6%増で6か月連続、事業主都合離職者は同0.8%減で5か月ぶりに、自己都合離職者は同3.4%減で2か月ぶりに、自営・他は同19.0%減で21か月連続、無業者は同30.3%減で14か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、24,292人(前年同月比1.8%減)で、2か月ぶりに前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

2月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.17倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.71倍で前月から同水準となった。

(4) 失業者の状況

2月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.3%、完全失業者数(原数値)は277万人(前年同月比12万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は5.0%(前年同月比0.4ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は52万人(前年同月比3万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
25年2月	27,747	1,991	2,684	306	1,198	3,989	185	528	711	2,177	1,171	7,513	3,195
前年同月比	4.7	4.1	4.2	9.5	14.0	2.3	17.0	25.7	0.7	18.3	5.6	8.2	7.8

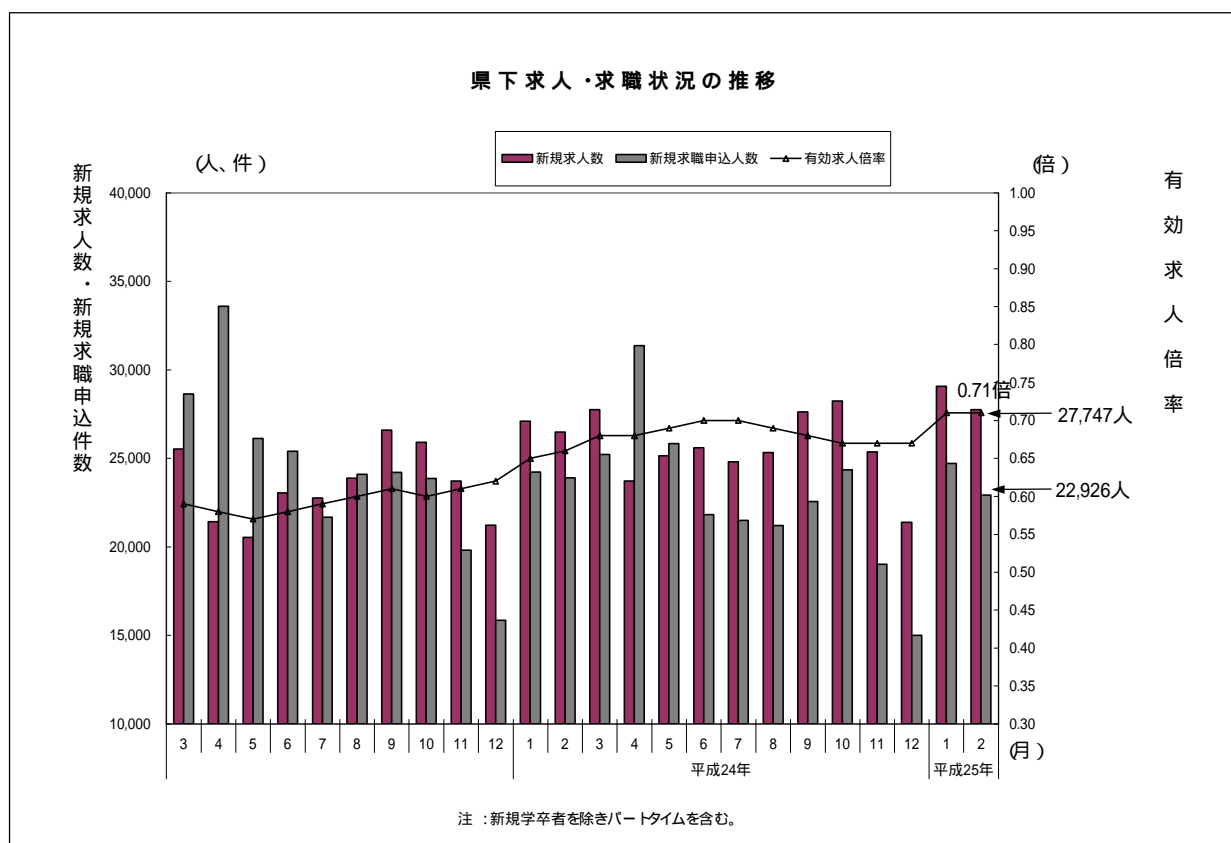
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	12/1-3	12/4-6	12/7-9	12/10-12	12/12	13/1	13/2
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.66	0.68	0.69	0.68	0.68	0.71	0.71
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	6.8	14.5	6.1	5.9	0.8	7.3	4.7
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	2.2	5.0	3.6	6.0	4.3	4.3	4.0
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.0	0.6	0.6	0.6	0.8	0.9	1.3
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	1.3	2.9	2.5	0.0	1.3	0.7	0.2

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

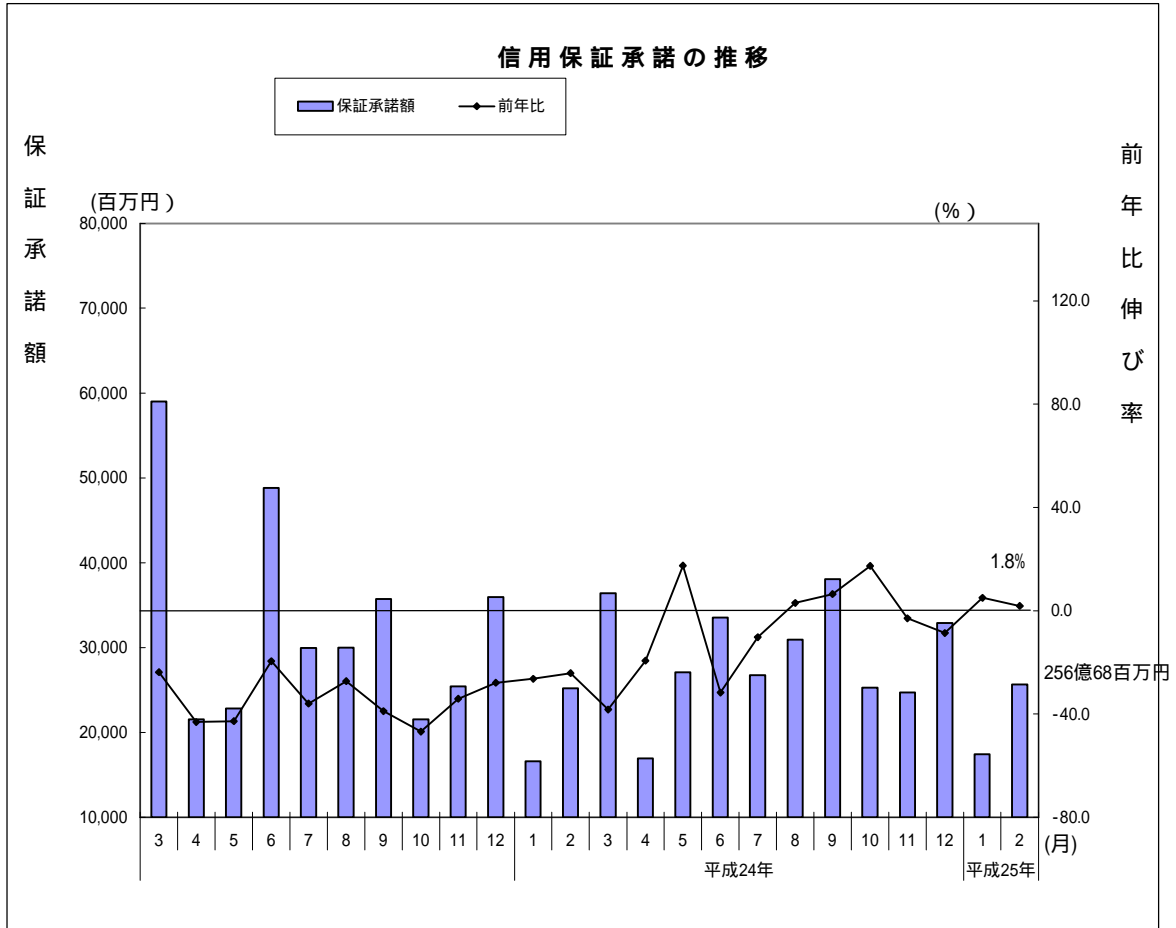
兵庫県信用保証協会による2月の保証承諾実績は、件数で1,529件(前年同月比12.7%減)、金額は256億68百万円(同1.8%増)となり、件数では前年実績を下回ったものの、金額では前年実績を上回った。

資金用途別では、運転資金23,846百万円(前年同月比5.3%増)、設備資金439百万円(同11.1%増)となり、運転資金、設備資金とも前年同月を上回った。

業種別(金額ベース)では、「卸売業」5,254百万円(前年同月比16.4%増)、「飲食店」637百万円(同13.8%増)、「運送・倉庫業」1,719百万円(同11.0%増)、「製造業」5,468百万円(同9.3%増)、「不動産業」867百万円(同8.2%増)、「サービス業」2,902百万円(同3.0%増)で前年同月を上回り、「小売業」2,893百万円(同9.8%減)、「建設業」5,811百万円(同13.0%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、372件(前年同月比19.5%減)、44億86百万円(同14.3%減)となった。

2月末の保証債務残高は、108,078件(前年同月比5.4%減)、1兆2,422億円(同8.5%減)となった。



【金融】

2月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	143,818	2.9	55,213	0.3
地方銀行	24,290	2.4	20,768	5.9
第二地方銀行	32,028	3.4	19,785	1.1
信用金庫	79,653	1.0	37,233	2.5
その他	17,288	2.2	17,097	0.3
計	297,077	2.4	150,096	0.4

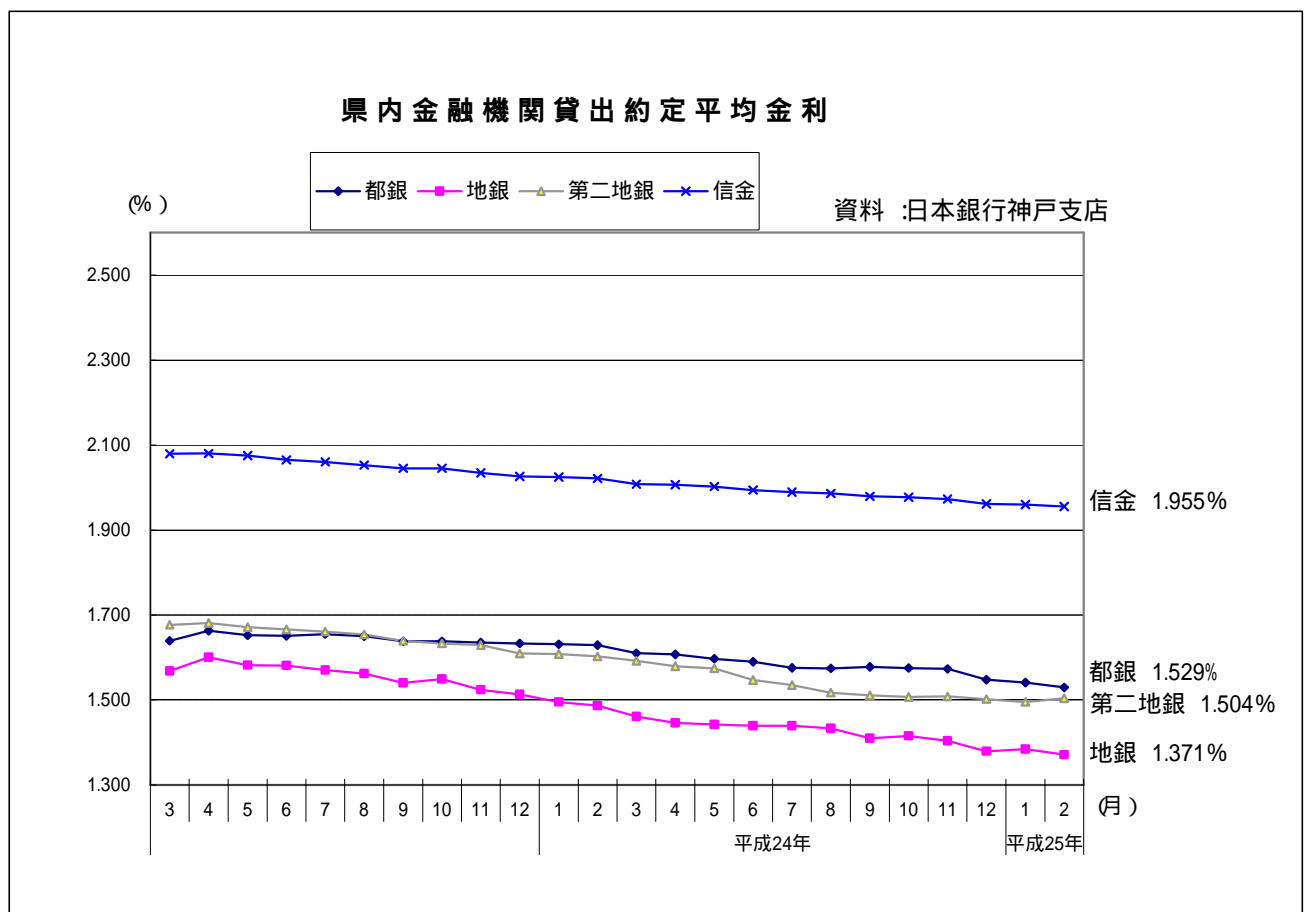
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

2月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+2.4%)

2月の貸出は、前年並みの水準で推移している。(前年比+0.4%)

2月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(2月末水準 1.651%、前月比 0.006%ポイント)。



【倒 産】

県内3月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は47件で前年同月比4.0%の減少、負債総額は25億36百万円で同48.6%の減少となった。

倒産件数は、前月比同数となり、3月単月では過去10年間(平成16年以降)で最小となった。負債総額は、10億円以上の大型倒産がなかったうえ、5億円以上10億円未満の倒産が1件にとどまるなど、3月単月では過去10年間で最小となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が27件(全体の57.4%)を占めた。

業種別(件数)では、「不動産・サービス他業」が18件と前月比2件の増加でトップであった。

「資本金別」では、「1千万円未満(個人企業含)」の件数が34件で、当月も小規模事業者の倒産が特徴的であった。

「産業別」では、「建設」が16件でトップ、「建設」、「製造」、「サービス・他業」が前月を上回った。

県下の企業倒産は、3月度の件数が2ヶ月連続で40件台となったうえ、3ヶ月連続で前月比減少となり、鎮静状態が続いているといえる。中小・零細企業などの倒産抑制に大きな効果が見られた「中小企業金融円滑化法」は、3月をもって終了した。円滑化法終了後も事業再生を柱とする中小企業支援策に怠りはなく、同法終了が即倒産への引き金になるようなことはないと思われる。ただ、経営改善の筋道が見いだせないような企業には、正念場を迎えることとなり、倒産増勢に転じる可能性はあるとみられる。

3月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	6	4	2	1	5	金属・機械・電気	6	6	0	7	-1
過小資本	3	3	0	4	-1	化学・薬品	0	0	0	0	0
連鎖倒産	3	1	2	1	2	ゴム・皮革・ケミカル	0	0	0	0	0
赤字累積	6	6	0	6	0	食品	1	4	-3	12	-11
販売不振	27	31	-4	37	-10	建設	16	9	7	11	5
売掛金回収難	0	0	0	0	0	不動産・サービス	18	16	2	15	3
その他	2	2	0	0	2	運輸・通信他	6	12	-6	4	2
合計	47	47	0	49	-2	合計	47	47	0	49	-2

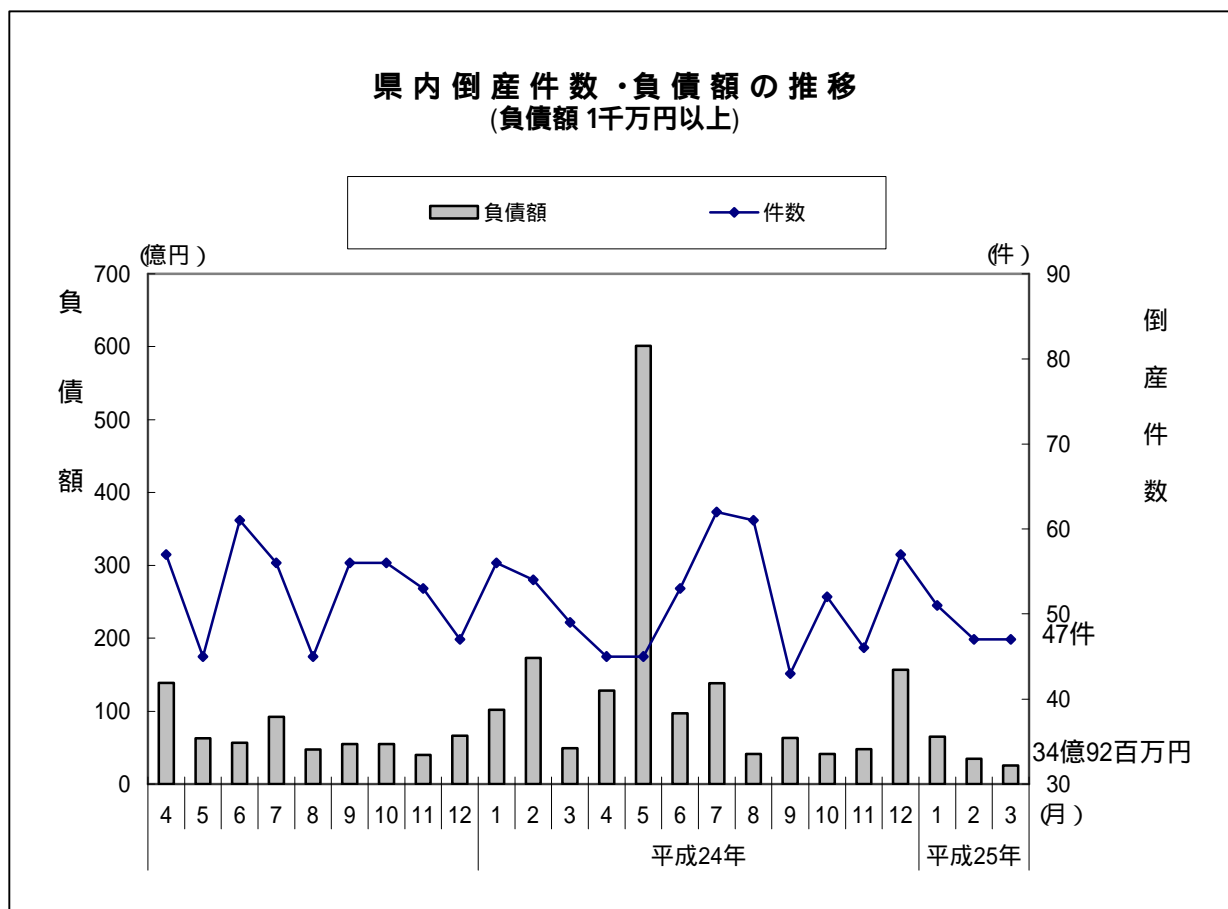
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 平均	51.9	16.0	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比
24年		%		%		%	%		%	%
1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
7月	95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
8月	91.6	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
9月	93.6	1.6	86.5	-4.1	251	-6.0	-1.9	2,534	2.4	15.5
10月	86.7	-7.5	87.9	1.6	269	17.4	28.2	3,051	23.0	25.2
11月	84.5	-2.4	86.4	-1.7	290	55.7	6.2	2,780	2.8	10.3
12月	88.3	4.4	88.8	2.4	192	5.6	15.6	3,193	-6.0	10.0
25年	r 88.6	-0.7	89.1	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
1月	p 87.3	0.8	89.6	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
2月					219	-12.4	-11.7			
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	金額 (億円)	前年比
24年		%	%		%	%		%		%
1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	4,239	-8.1	2,227	-2.1
8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	4,032	-5.0	2,256	-6.6
9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1	-0.0	4,271	-6.6	2,041	-6.5
10月	11,441	-6.3	-6.7	169	0.2	-2.2	4,032	-9.9	2,318	2.8
11月	12,576	-3.9	0.2	185	4.2	2.5	3,800	-9.2	2,271	-3.2
12月	11,342	-2.3	-2.0	258	0.3	-1.0	4,444	-5.2	2,137	-0.6
25年	r 13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	-3.5	r 3,522	7.4	r 2,371	0.9
1月	p 16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9		p 3,860	-11.8	p 2,058	14.5
2月				176	3.5					
3月	21,468	-13.9	-11.0							
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
24年 1月	(季調済) 0.65	(季調済) 0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月	0.68	0.81	1,052	4.4	99.3	-0.5	99.7	-0.5	99.6	-0.3
10月	0.67	0.80	1,047	4.2	99.3	-0.6	99.5	-0.9	99.6	-0.4
11月	0.67	0.80	1,048	4.0	99.8	-1.6	98.9	-0.7	99.2	-0.2
12月	0.67	0.82	1,048	4.0	100.4	0.5	98.9	-0.6	99.3	-0.1
25年 1月	0.71	0.85	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	r 98.7 p 99.0	-1.4	99.2	-0.7
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課			兵庫県統計課		総務省		

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末)	前年比 %	全国銀行 (年%)	件数 (件)	金額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %						神戸	阪神	播磨他
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.7	-0.4	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.2	-0.7	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.5	-1.4	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	100.0	-2.2	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	100.2	-1.9	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	100.4	-1.5	151,823	0.8	1.385	43	63	15	14	14
10月	100.1	-1.0	149,833	0.1	1.383	52	41	22	11	19
11月	100.1	-0.9	150,053	0.0	1.378	46	48	12	17	17
12月	100.3	-0.7	151,415	-0.1	1.364	57	157	11	19	27
25年 1月	100.6	-0.2	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	r 101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	p 101.1	-0.5				47	25	16	15	16
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値